

平成 16 年 12 月 24 日

北海道知事  
高橋 はるみ 様

日本バイオ産業人会議  
世話人代表 歌田勝弘



「遺伝子組換え作物の栽培等に関する条例（仮称）素案について」に対する意見

わが国は現在、2002 年 12 月に策定された国家戦略である「バイオテクノロジー（BT）戦略大綱」に基づき、国民が期待する未来像の実現に向け、努力しているところであります。遺伝子組換え技術に代表される BT は、「国民の健康向上に貢献する技術」として、また、「環境問題を解決する技術」として、大いに期待されております。また、第 2 期科学技術基本計画においても、BT の係るライフサイエンス分野は国家的・社会的課題を含んだ重点 4 分野のひとつとして重視、推進されています。

一方、貴道のみならずわが国にとって極めて重要な基幹産業である農業と食品産業において、BT を活用した高度化、国際競争力強化は国民全体にとって重要な意味をもっています。

こうした認識の下、今回、貴道から出されました「遺伝子組換え作物の栽培等に関する条例（仮称）素案について」に対して、以下の通り意見をまとめましたので宜しくご考慮下さいますようお願い致します。

1. 現在、遺伝子組換え作物の人の健康と環境への安全性についてはご存知の通り、わが国では政府により食品、飼料、生物多様性の環境の面からそれぞれについて科学的に厳格な評価が行われています。こうした体制・制度の下で安全性承認の得られた遺伝子組換え作物は、基本的に法的規制を受けることなく栽培できます。この度の貴道の条例素案では、国で安全性が確認された遺伝子組換え作物についても規制対象としていますので、必要以上の規制であると考えます。条例の規制対象は、国により安全性の確認されていない遺伝子組換え作物の試験栽培などに限定することが適切であると考えます。

過剰に規制することは、農業者の栽培の自由と国際的に作付けされている安全で高機能な作物の栽培とを制限することになり、さらには将来が期待される植物バイオ研究、農業技術・研究開発全体の国際的な遅れをもたらすことが危惧されます。今後 BT により栄養機能、アレルギー低減、耐寒性などを付与された作物からの消費者、生産者が得られるはずの利益を損なうことになるかもしれません。さらに、将来の日本の農業・食品産業全体の発展、ひいてはわが国の食糧問題、地域経済問題にも悪影響を及ぼすと考えます。

2. 本条例素案は「交雑・混入及び生産・流通上の混乱を防止すること」を目的としています。現在わが国では、ダイズやトウモロコシなどが米国から大量に輸入され流通しています。ご存知の通り米国では、これら作物で安全性の確認された遺伝子組換えのものが広

範囲にわたって栽培されています。しかし、一定のマニュアル、ルールで生産・流通管理されおり、わが国でも現実に「非組換え体」、「不分別」として特別な混乱もなく輸入・流通しています。人の健康と環境上問題のない作物同士の交雑・混入問題については、現在行われている通常のルールに準じて対応するのが適切と考えます。従って、本条例素案で、安全性の確認・承認された遺伝子組換え作物について、本目的で法的に規制をかける必要はないものと考えます。

3. 本条例素案では、具体的な内容や条件が記載されていないものが多く、その適否を客観的に判断することは難しいものと考えます。栽培が許可されるか否かは、その具体的な条件により大きく変動します。例えば以下のような項目については、具体的な内容や例を提示した上でパブリックコメントを求める必要があると考えます。

- 遺伝子組換え作物栽培が可能となるための必要な交雑・混入措置の具体例。
- 試験研究機関における知事の定める要件。
- 条例の実効性を確保するための必要とされる担保措置。

4. 本条例素案に見直し規定を入れる必要があると考えます。BTは、急速に進歩・発展しており、その知見も急増しています。また、世界的に遺伝子組換え作物の作付面積が急速に拡大している状況で、各国の対応も変化しています。こうした状況を踏まえ、例えば1年毎の見直し規制を入れる必要があると考えます。

貴道におかれては、BTを用いた新しい技術開発の必要性、重要性を認識され、その推進にご努力されていると認識しています。そのためには、「知識と理解の深化」、「人材の育成」、「試験研究体制の整備」、「食のリスクコミュニケーション」など一般市民の理解促進活動を積極的に行うことが、まず最初に必要と考えます。こうしたことには、弊会議と致しましても可能な限り協力させて戴きたいと存じます。条例の策定の影響は、全国に及ぶほど大きいものでもありますので、安全性の承認されている遺伝子組換え作物につきましては、栽培が制約されないよう重ねて慎重な対応をお願い致します。